

場面 合う 慣用句を、上の ア～シ から えらんで、記号で 書きましょう。

ア 顔が広い

ウ 顔をつぶす

オ 頭をかかえる

キ 腹を立てる

ケ 腹を決める

サ 首をかしげる

イ 顔から火が出る

エ 頭が下がる

カ 頭が固い

ク 腹をかかえる

コ 首を長くする

シ 首をつっこむ

① 大勢の 前で 名前を 読みまちがえて、とても はずかしかった。

イ

② 宿題が 多すぎて、どこから 始めたら よいか こまりはてた。

オ

③ 遠くに すむ いとこが 遊びに 来るのを、今か今かと 待っていた。

コ

④ 計算の 答えが 合わなくて、「おかしいな」と ふしぎに 思った。

サ

⑤ 父は 知り合いが 多く、町の どこへ 行っても あいさつされる。

ア

⑥ まよったが、思い切って 劇の 主役に 手を あげると 決めた。

ケ

⑦ 大切に していた 本を 弟に よごされて、とても おこった。

キ

⑧ 毎朝 早く 来て 花に 水を やる 用務員さんには、感心させられる。

エ

